

障 害 者 総 合 支 援 法 制 定 2 0 周 年 記 念
第 7 5 回 山 口 県 総 合 社 会 福 祉 大 会 開 催 要 綱

1 趣 旨

少子高齢化や人口減少が進み、社会・経済の担い手の減少や地域社会における支え合い機能の弱体化など、地域社会を取り巻く環境は大きく変化している。

こうした中、国においては、「地域共生社会」の実現に向け、地域に生きる一人ひとりが尊重され、多様な経路で社会とつながり参画することで、その生きる力や可能性を最大限に発揮できる社会づくりが進められている。

また、県においては、こうした国の動向等を踏まえながら、誰もが希望を持っていつまでも安心して暮らし続けることができるよう、「結婚、妊娠・出産、子育て応援」「誰もがいきいきと輝く地域社会の実現」「安心を支える医療と介護の充実強化」「生涯を通じた健康づくりの推進」などの施策に取り組んでいる。

折しも本年は、障害者総合支援法制定20周年の記念すべき年に当たり、県・市町社会福祉協議会においては、住みたい地域で誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができるよう、地域福祉の推進役として、地域住民、民生委員・児童委員、福祉員、老人クラブ、社会福祉法人・福祉施設、企業等の多様な関係者及び保健、医療、福祉、教育、法曹、更生保護等関係機関・団体等との連携・協働の下、コロナ禍での経験やその対応におけるノウハウも踏まえながら、住民相互のつながりの再構築による地域住民の支え合う体制づくりを総合的かつ計画的に推進することとしている。

本大会は、こうした社会福祉をめぐる情勢を踏まえ、県内の社会福祉関係者が一堂に会し、多年にわたり社会福祉の向上に尽力された方々を表彰し、敬意と感謝の意を表するとともに、課題や方向性を共有し、本県の社会福祉のより一層の発展に資することを目的として開催する。

2 主 催 (24 団体)

山口県、社会福祉法人山口県社会福祉協議会、社会福祉法人山口県共同募金会、山口県民生委員児童委員協議会、一般財団法人山口県老人クラブ連合会、一般社団法人山口県身体障害者団体連合会、社会福祉法人山口県社会福祉事業団、山口県老人福祉施設協議会、山口県障害福祉サービス協議会、山口県身体障害者施設協議会、一般財団法人山口県児童入所施設連絡協議会、一般財団法人山口県知的障害者福祉協会、一般財団法人山口県保育協会、一般財団法人山口県里親会、一般財団法人山口県手をつなぐ育成会、山口県肢体不自由児協会、山口県肢体不自由児（者）父母の会連合会、一般財団法人山口県母子寡婦福祉連合会、公益財団法人山口きらめき財団、山口県地域活動連絡協議会、公益財団法人山口県健康福祉財団、山口県精神保健福祉会連合会、柳井市、社会福祉法人柳井市社会福祉協議会

3 後 援 (予定)

山口県市長会、山口県町村会、山口県連合婦人会、山口県教育委員会、山口県保護司会連合会、山口県弁護士会、山口県自治会連合会、朝日新聞社、共同通信社山口支局、時事通信社山口支局、中国新聞防長本社、t y s テレビ山口、日本経済新聞社山口支局、NHK山口放送局、毎日新聞社、y a b 山口朝日放送、山口新聞、K R Y 山口放送、読売新聞西部本社 (順不同)

4 開催日時・大会内容

令和7年10月29日(水)

受付開始	正午
オープニング	午後 0時25分
開 会	午後 1時
閉 会	午後 4時

※詳細は別紙「大会日程」のとおり。

5 会 場

サンビームやない
山口県柳井市柳井 3670 番地 1
TEL 0820-22-0111

6 参加人員及び参加者の範囲

- (1) 参加人員 600人
被表彰者 200人(予定)
一般参加者 400人(市町別参加人員は割当表による)

(2) 参加者の範囲

- ① 社会福祉協議会、共同募金会関係者
- ② 民生委員・児童委員
- ③ 社会福祉施設関係者
- ④ 老人クラブ関係者
- ⑤ 障害児(者)福祉関係者
- ⑥ 母子及び父子並びに寡婦、児童福祉関係者
- ⑦ 小地区福祉員、ボランティア
- ⑧ 社会福祉関係公務員
- ⑨ その他社会福祉関係団体及び社会福祉に関心がある方

7 参加申込み等

- (1) 関係団体は、参加者(被表彰者を含む)をとりまとめて、9月29日(月)までに地元市町社会福祉協議会へお申込みください。
- (2) 市町社会福祉協議会は、管内参加者(被表彰者を含む)をとりまとめて、10月6日(月)までに別紙申込書により大会事務局へお申込みください。
- (3) 参加者及び被表彰者の旅費等は、関係団体又は市町等において御配慮ください。
- (4) 参加者及び被表彰者には、資料・参加記念品を配布します。

8 個人情報の取扱い

「参加申込書」に記載された個人情報は、本大会の運営管理のためだけに利用します。

なお、被表彰者については、本大会の被表彰者名簿に氏名又は団体名・職名及び市町名を掲載します。

9 附帯行事

本大会で、次の附帯行事を行います。

- ①健康福祉関係等の啓発
- ②障害福祉サービス事業所の製品展示等

10 その他

- (1) 本大会では、手話通訳者、要約筆記通訳者の配置及び託児ルームを設置します。手話通訳、要約筆記、託児が必要な場合は、参加申込時にお申し出ください。
- (2) 駐車可能台数が例年より少ないため、乗り合わせの上ご来場くださるようご協力をお願いいたします。

11 大会事務局

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

総務企画部 総務班

担当：橋本、舌間

〒753-0072 山口市大手町9番6号

TEL (083)924-2777 FAX (083)924-2792

Eメール soumu@yg-you-i-net.or.jp

第75回山口県総合社会福祉大会日程

時 間	内 容
12:00	受 付
12:25	オープニング 伊陸南山神社神楽保存会「勧請」
13:00	開 会
	「式 典」
	開式のことば 柳井市社会福祉協議会長
	1 国歌斉唱
	2 社会福祉関係物故者慰霊の黙祷
	3 主催者あいさつ 山口県社会福祉協議会長
	4 激励のことば 山口県知事
	5 開催地あいさつ 柳井市長
	6 表 彰
	(1) 山口県知事表彰
	(2) 山口県社会福祉協議会長表彰
	(3) 山口県共同募金会長表彰
	(4) 山口県民生委員児童委員協議会長表彰
	(5) 山口県老人クラブ連合会長表彰
	(6) 山口県身体障害者団体連合会長表彰
	(7) 山口県老人福祉施設協議会長表彰
	(8) 山口県障害福祉サービス協議会長表彰
	(9) 山口県身体障害者施設協議会長表彰
	(10) 山口県児童入所施設連絡協議会長表彰
	(11) 山口県知的障害者福祉協会长表彰
	(12) 山口県保育協会长表彰
	(13) 山口県里親協会长表彰
	(14) 山口県手をつなぐ育成協会长表彰
	(15) 山口県肢体不自由児協会长理事長表彰
	(16) 山口県肢体不自由児(者)父母の会連合協会长表彰
	7 決意表明 被表彰者代表
	8 祝 辞 山口県議会議長
	9 来賓紹介
	10 祝電披露
	11 大会宣言 山口県精神保健福祉会連合会
14:04	閉式のことば 山口県社会福祉協議会副会長
14:05	「式典終了」
	報告「福祉関係団体活動報告」
	—休憩—
14:30	健康福祉に関する作文発表(1題)
14:35	特別講演
	「発達障害は私にとってギフトでした!!」
	講師 柳家 花緑 氏(落語家)
15:57	次期開催地あいさつ
16:00	閉 会

発達障害は私にとって ギフトでした！！



やなぎや かるく
柳家 花緑

落語家

< 経歴 >

1971年8月2日生まれ 東京都豊島区出身

1987年3月 中学卒業後 祖父・五代目

柳家小さん入門

前座名「九太郎」

1989年9月 ニツ目昇進 「小緑」と改名

1994年3月 戦後最年少の22歳にて真打昇進
「花緑」と改名

< 著 書 >

「僕が手に入れた発達障害という止まり木」(幻冬舎)2020年

「柳家花緑 特撰まくら集 多弁症のおかげです！」(竹書房)2020年

「花緑の幸せ入門「笑う門には福来たる」のか？～スピリチュアル風味～(竹書房)2017年

『にほんごであそぼ』(NHK 教育)で紹介した「寿限無」は子どもたちの間で大ブームとなり、人気・知名度ともに全国区に。

着物と座布団という古典落語の伝統を守りつつも、近年は劇作家などによる新作落語や都道府県落語を、洋服と椅子という現代スタイルで口演する「同時代落語」にも挑戦している。更に、2015年5月にはバレエの名作“ジゼル”を江戸時代に置き換えた花緑の創作落語「おさよ」と、東京シティ・バレエ団のバレエ「ジゼル」いう異色のコラボレーションが実現した『花緑のバレエ落語「おさよ」』を公演。大きな反響を呼び、2017年には東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団が加わり『新・おさよ』として再演された。

また、同じく2017年に発売した著書『花緑の幸せ入門「笑う門には福来たる」のか？～スピリチュアル風味～』(竹書房)の中で、自身が発達障害の一つ“識字障害(ディスレクシア)”であることを公表。

多方面からの反響があり、数々のテレビや雑誌等への出演の他、全国の発達障害をテーマとした講演会へも多数登壇している。

落語家としての活動以外にも、テレビ、舞台などでも、ナビゲーターや俳優として幅広く活躍中。